

鳩ヶ谷中学校 業務改善スタンダード

令和6年4月

目標 時間外在校等時間を
月45時間・年360時間超ゼロへ

※月45時間、年360時間は令和2年1月に文部科学省が示した「指針」で規定された上限時間のこと

本校の実態

項目	令和4年度	令和5年度
月45時間超教職員の割合	45.2%	54.5%
月80時間超教職員の割合	10.9%	9.1%
年360時間超教職員の割合	90.9%	75.8%

1 新しい教育課程の編成

- 授業開始時刻を5分早める
- 昼休みの時間を短縮する
- モジュール学習を導入し、週当たり29コマのうち1コマをモジュールとする。(週28コマ)
- 毎週月・金曜日を5時間授業とする。

2 勤務時間内で部活動終了を段階的に実施

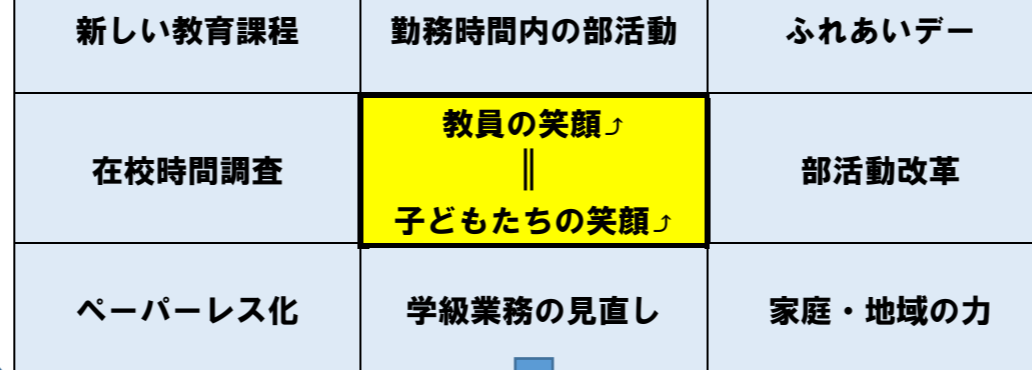
- 8月以降は本校の勤務時間終了時刻16:45には部活動を終了する。

3 ふれあいデー&カエルデーの設定・実施

- 月1回のふれあいデーを確実に実施する。
- 月1回のカエルデーの設定と確実な実施を行う。
- 管理職から早期退勤の声掛けと見届けを行う。
- 学年主任や保健主事からの声掛けを行う。

4 時間外在校時間調査の継続的な実施

- 土日を含めた確実な打刻で状況を把握する。
- 自身の時間外在校時間の見える化を図る。
- 時間外勤務45時間以上の職員に対する校長面談を実施して長時間勤務の改善を図る。



5 段階的な部活動改革

- 複数顧問制を導入する。
- 指導時間をローテーションで分割する。
- 地域の指導者、地域クラブとの連携、保護者クラブの設立等により、教員の指導時間削減を行う。

6 ICTを活用してペーパーレス化

- 諸会議資料をペーパーレス化する。
- 提案資料や引継ぎ資料は必ず電子化してフォルダに保存する。
- 教務は、提案内容・時間を調整する。

7 学級業務の削減

- 通知表の所見等の記載は3学期のみとする。
- 1・2年次の家庭訪問を学校での面談とする。
- Formsを活用して集計作業をカットする。
- 欠席連絡をFormsで実施する。

8 家庭・地域の力を積極的に活用

- 学校行事において、PTAのボランティア協力員に支援を要請する。
- 自治会を中心に合同防災訓練を実施する。
- 地域の専門家をゲストティーチャーとして活用する。

「業務改善スタンダード」のねらい ~『教員の笑顔↑ = 子どもたちの笑顔↑』~

学校における働き方改革は何か。文部科学省は、「学校における働き方改革の目的は、教師のこれまでの働き方を見直し、自らの授業を磨くとともに日々の生活の質や教職人生を豊かにすることで、自らの人間性や創造性を高め、子供たちに対して効果的な教育活動を行うことができるようになること」と述べています。埼玉県教育委員会では、令和3年6月の調査から「埼玉県業務改善スタンダード」を作成し、学校における働き方改革をすべての教職員が実感するために推奨する取組をまとめました。本校における働き方改革の推進は「教員の笑顔↑ = 子どもたちの笑顔↑」を目的とし、教職員一人一人が元気に勤務することで、生徒たちの笑顔につながると考えています。そこで、全教職員がワークライフバランスをとることができるように、鳩ヶ谷中学校業務改善スタンダードを作成しました。

『教員の笑顔↑ = 子どもたちの笑顔↑』

先生方が心身ともに健康であり、満足感や幸福度が高ければ自然と笑顔が増えます。そして先生方のその笑顔は、必ず子どもたちにも満足感や幸福を与えて笑顔にします。まずは先生方が笑顔になるために働き方を改革し、先生方がウェルビーイングである笑顔溢れる職場環境を作っていきましょう！